



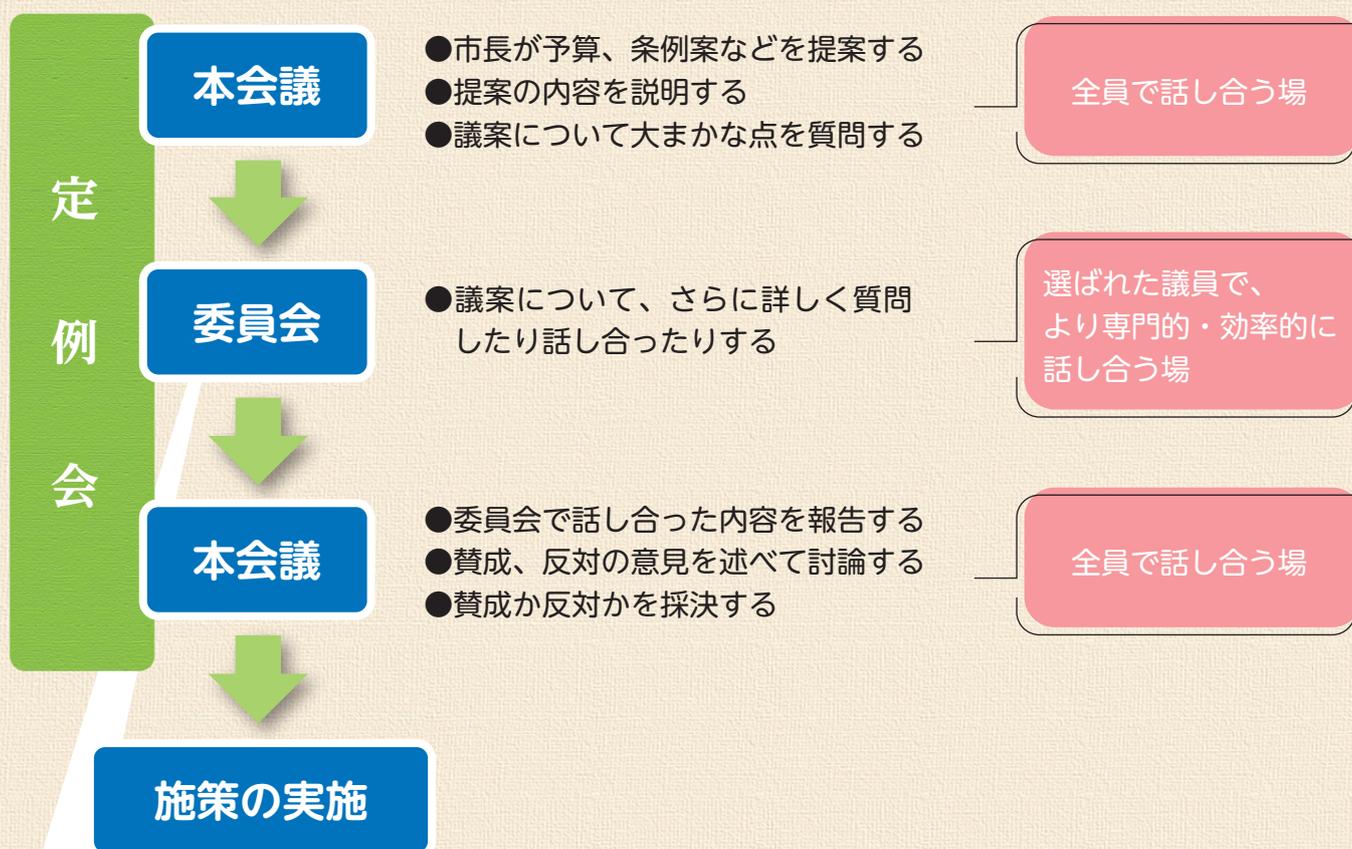
丸亀城とブルーインパルス

### 6月定例会 6月5日~23日

主な内容

- 特集 丸亀市議会紹介 ..... 2
- 議案審査 ..... 4
- 請願審査・審議結果・人事案件 ..... 6
- 議案一覧・議会の動き ..... 7
- 一般質問 ..... 8
- 表彰・特別委員会・広報広聴委員会 ..... 16
- 編集後記 ..... 16

## 市議会の流れ



### 委員会とは

議会に提出された議案などを、少人数の議員で専門的・効率的に審査を行う内部機関のことで、常任委員会、議会運営委員会、特別委員会があります。

#### 常任委員会

議案などを行政部門ごとに審査するために常時設置されています。

総務委員会（8人）

教育民生委員会（8人）

都市環境委員会（8人）

#### 議会運営委員会（7人）

議会運営を円滑に進めるための協議や、意見の調整を図るために設置されています。

#### 特別委員会

議会の議決により、特定の案件を審査・調査するため必要に応じて設置されます。

中心市街地等活性化特別委員会（8人）

予算特別委員会（議長を除く全議員 23人）

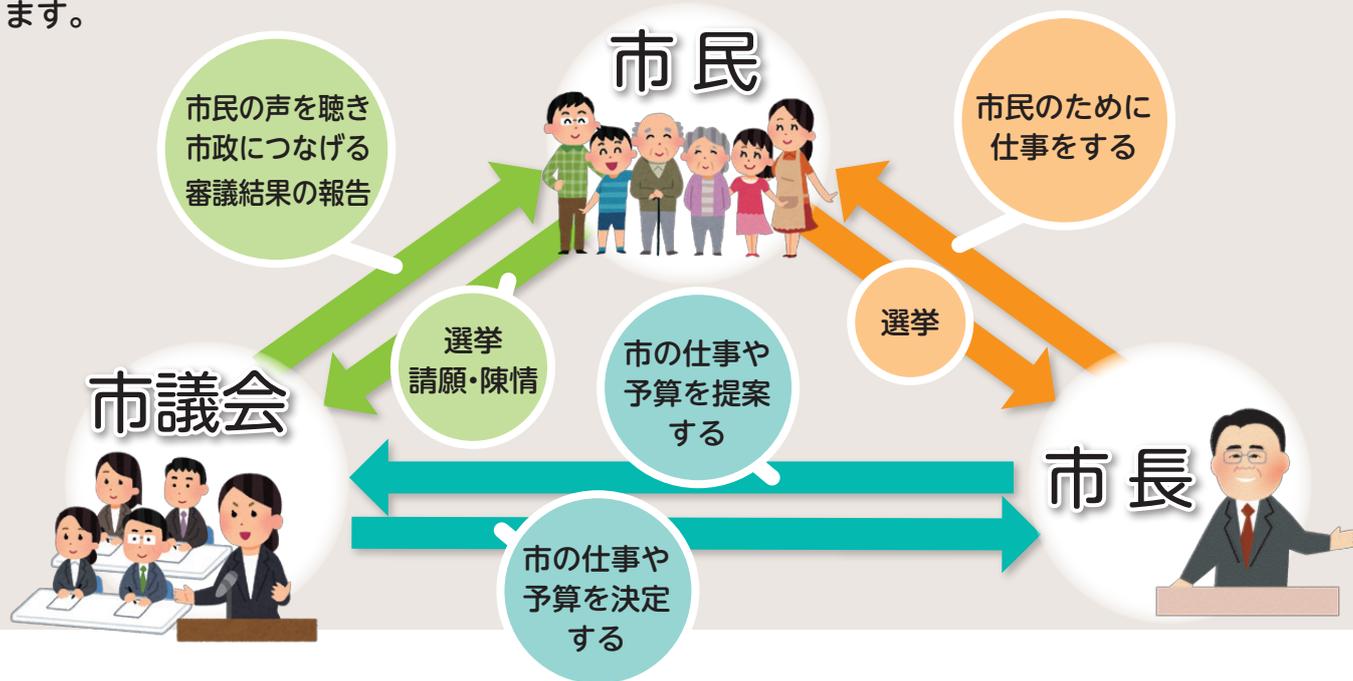
決算特別委員会（議長、監査委員を除く全議員 22人）

※定例会は、年4回（3月、6月、9月、12月）開催され、緊急を要する場合に開催される臨時会もあります。

## 市議会の仕組み

丸亀市議会は、丸亀市民から選ばれた24人の議員で構成されています。令和7年4月に改選があり、現在の議員の任期は令和11年4月23日まで（4年間）です。

市議会と市長は独立した立場から協力し、意見を出し合っ市民生活向上のために活動しています。



## 市議会の主な役割

### 議 決

…… 議会の考えを決定するのが議決。議会の最も基本的な役割です。条例を制定・改正・廃止したりするほか、予算の決定や決算の認定などを行います。

### 市の仕事のチェック

…… 市の仕事が正しく行われているか、市役所の事務をチェックします。

### 政策立案

…… 議員及び常任委員会は提案権にもとづき、条例等を提案することができます。

### 請願・陳情

…… 市民から提出された要望を、請願・陳情として受け取って審査します。

### 意見書の提出

…… 丸亀市をもっと住みよいまちにするために必要なことを、国や県などに要望するため、議会の考えをまとめて、意見書として提出します。

# 6月定例会

令和7年6月定例会を6月5日から23日まで開催し、補正予算をはじめ各種条例改正などを審議しました。ここでは主な質問と討論、審議結果などを掲載します。

- 5日
  - ・ 議案第59号～議案第73号
  - || 提案説明
  - ・ 議案第74号～議案第76号
  - || 提案説明・意見・採決
  - ・ 議案第77号
  - || 提案説明・選挙
- 9日
  - ・ 議案第59号～議案第73号
  - || 質疑・委員会付託
- 10～13日
  - ・ 一般質問
- 16日
  - ・ 教育民生委員会
  - ・ 都市環境委員会
- 17日
  - ・ 総務委員会
- 23日
  - ・ 議案第59号～議案第73号、請願第1号
  - || 委員長報告・討論・採決
  - ・ 議案第78号～議案第80号
  - || 提案説明・討論・採決
  - ・ 議案第81、82号
  - || 提案説明・意見・採決
  - ・ 中心市街地等活性化特別委員会の設置

## 補正予算 議案第59号

### 地域市民活動促進事業費

補正額：50万円

市民等との協働をより一層推進するため、追加計上するもの。

Q

具体的な事業内容は。

A

今年度実施の提案型協働事業を選考する際に、僅差で不採択となった1事業を追加するもの。塩飽大工により建てられた本島の伝統的建造物の調査分析を香川大学と共同で行い、瀬戸内国際芸術祭に合わせて公開展示する。

## 補正予算 議案第59号

### こども家庭センター事業費

補正額：310万円

見守りが必要な家庭に対し、訪問による食事提供の機会を通じて児童の状況を把握し、虐待や孤立の防止と必要な支援につなげるため、計上するもの。

Q

児童等見守り強化事業の委託先と随意契約を交わす理由は。

A

相談業務を行う際、アウトリーチができないという課題を抱える中、民間団体との調整によりアウトリーチを通じた支援が可能となったため。

## 補正予算 議案第59号

### ひとり親家庭等子育て支援事業費

補正額：160万6千円

離婚により離れて暮らす親子の交流機会の拡大や、養育費を確実に受け取れるよう公正証書の作成等を支援することで、子どもの健やかな成長や経済的な負担及び不安の軽減を図るため措置するもの。

Q

親子交流支援事業で、付き添い等を支援する職員の経歴は。また、同居親の意向で、子どもの面会交流希望の意向が変わり、実施が難しくなった場合の対応は。

A

付き添い等を行う支援員は、元家庭裁判所調査官や調停委員である。また、子どもの意思の変化により面会交流が困難な場合は、子どもの福祉の観点から支援員が間に入り、子どもと話をしながら面会交流を調整する。

**補正予算**

議案第59号

**市営墓地施設整備事業費**

**補正額: 4,251万円**

市営墓地の地盤改良事業について、事業の進捗に伴い既存墓石の移設補償や工事費などを計上するもの。

**Q**

はかじま  
墓終いの件数が急速に増加する中、市営墓地改良工事の施工範囲は適当か。また、将来を見据えた事業検討が必要では。

**A**

市営墓地の空き区画は少なく、現在墓地として利用されている箇所の工事を行うもので、今後墓終い<sup>はかじま</sup>がさらに進むようであれば、市営墓地全体で方針を検討する。

**補正予算**

議案第59号

**蓬萊海浜公園再整備事業費**

**補正額: 2,310万円**

蓬萊海浜公園再整備の実施設計に係る委託料を追加措置するもの。

**Q**

モーターボート競走収益基金からの繰入れを財源としているが、臨海工業地区施設管理基金を充てることはできないのか。

**A**

臨海工業地区は、埋立て地への企業誘致や丸亀港等岸壁の環境整備を行いながら、今日の産業基盤の形成に至っており、臨海工業地区施設管理基金は整備後の施設管理のため、事業に伴う運用益などを基に設置された経緯がある。本市が管理する岸壁は、10年ごとに点検し、市債や本基金を活用して適切に維持、改修を行っており、今後も改修や修繕費用が必要となるため、蓬萊海浜公園の再整備には活用せず、万一の事態に備える。



丸亀市HPより

**物品の購入**

議案第71号

**小型動力ポンプ付積載車(軽自動車)3台**

株式会社岩本商会高松支店と物品売買仮契約を締結したため、議会の議決を求める。

**Q**

20年を目安に更新配備してきた消防団用車両において、4輪駆動と2輪駆動の車両が混在している理由は。

**A**

足場が悪い災害現場等へ出動する車両は4輪駆動としているが、運転時の小回りが効く2輪駆動車両も一部配備している。

**物品の購入**

議案第73号

**GIGAスクール構想に係る生徒用タブレット端末3,056台**

株式会社大塚商会広島支店と物品売買仮契約を締結したため、議会の議決を求める。

**Q**

購入するタブレット端末が故障、破損した場合の対応は。

**A**

これまでと同様、学校からの要請を受け、教育委員会が修理費を負担したいと考えている。

## 請願審査結果

### 請願第1号

#### 「消費税率5%への引き下げを求める意見書」を政府に送付することを求める請願

丸亀民主商工会 会長 若山美代子  
 新日本婦人の会丸亀支部 支部長 洲崎よう子  
 香川医療生協丸亀北支部 津田 洋子  
 丸亀革新懇 世話人代表 佐々原義幸  
 丸亀市政を考える会 世話人代表 笹井 孝志  
 年金者組合丸亀支部 津田 勲

#### 【賛成】

中谷真裕美

物価高騰対策として、消費税減税は現金給付よりも迅速な対応が可能で、社会保障の財源は所得税や法人税で充当できる。暮らしや中小企業を守るため、市民生活に一番身近な市議会として、逆進性が強い消費税の減税を国へ要望すべきである。

【反対】横田 隼人

消費税は安定的な財源として社会保障の充実に不可欠であり、物価高騰対策には、経済の混乱が生じる減税よりも現金給付が優れている。また、法人税率引き上げは日本からの企業流出や国際競争力の低下、賃上げ基調への歯止めにつながるため、消費税減税に係る財源確保策として相応しくない。

請願審査結果  
審議結果・人事案件

#### ●請願の趣旨

国民や中小企業は急激な物価上昇により深刻な影響を受けている。暮らしや営業を守るため、大企業や富裕層優遇の税制を改革して確保した財源をもとに、緊急に「消費税率5%への引き下げを求める意見書」を政府に送付するよう求める。

#### ●審査結果 不採択

令和7年6月定例会

### 賛否が分かれた議案等の審議結果

議員名 ( )内は所属会派	議案名	審議結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
			蒲生 裕久(公明党)	小野祐美子(市民クラブ)	大岡 弘美(市民クラブ)	渡邊 一馬(市民クラブ)	角野 仁美(市民クラブ)	中谷真裕美(会派無所属)	大倉 流星(国民民主丸亀)	神田 泰孝(国民民主丸亀)	原田友里江(国民民主丸亀)	谷本 和也(志政会)	廣田 勝也(志政会)	東 由美(志政会)	福部 正人(公明党)	加藤 正員(市民クラブ)	大西 浩(市民クラブ)	守家 英明(市民クラブ)	岡田 剛(会派無所属)	水本 徹雄(会派無所属)	竹田 英司(亀城会)	多田 光廣(亀城会)	真鍋 順穂(亀城会)	香川 勝(志政会)	横田 隼人(志政会)	大前 誠治(志政会)
請願第1号	「消費税率5%への引き下げを求める意見書」を政府に送付することを求める請願	不採択	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	◆	×	×	×

○は賛成、×は反対した者です。※上記以外の議案はすべて全会一致で原案を可決しました。◆は議長のため採決には参加していません。

### 人事案件

今期定例会で審議された人事案件は次のとおり  
(敬称略)

#### ▼監査委員

識見を有する委員  
善通寺市上吉田町 岸上 直美

#### ▼議員選出委員

垂水町 大西 浩

#### ▼公平委員会委員

今津町 廣瀬 義文

#### ▼選挙管理委員

綾歌町 丸尾 良一

飯山町 川原留美子

飯野町 近藤 克彦

十番丁 神原 太一

#### ▼選挙管理委員補充員

那家町 小橋 節子

飯山町 山本久美子

綾歌町 北山 正善

中津町 金丸 大輔

副市長 窪田 徹也

土器町 窪田 徹也

#### ▼固定資産評価員

土器町 窪田 徹也

#### ▼中讃広域行政事務組合

議会議員

(旧)大西 浩(新)守家英明

## 令和7年6月定例会で審議された議案等

議案番号	件名
第59号	令和7年度一般会計補正予算(第1号)
第60号	市税条例の一部改正
第61号	市コミュニティセンター条例の一部改正
第62号	工事請負変更契約の締結(飯山北コミュニティセンター改築工事)
第63号	工事請負変更契約の締結((仮称)みんなの劇場新築に伴う電気設備工事)
第64号	工事請負変更契約の締結((仮称)みんなの劇場新築に伴う空調設備工事)
第65号	工事請負変更契約の締結((仮称)みんなの劇場新築に伴う舞台機構設備工事)
第66号	工事請負変更契約の締結((仮称)みんなの劇場新築に伴う舞台音響設備工事)
第67号	工事請負変更契約の締結((仮称)みんなの劇場新築に伴う舞台照明設備工事)
第68号	工事請負契約の締結(生涯学習センター解体工事)
第69号	工事請負契約の締結(丸亀城三の丸石垣復旧等工事)
第70号	物品の購入(高度救命処置用資機材一式)
第71号	物品の購入(小型動力ポンプ付積載車(軽自動車)3台)

議案番号	件名
第72号	物品の購入(小型動力ポンプ付積載車(普通自動車)2台)
第73号	物品の購入(GIGAスクール構想に係る生徒用タブレット端末3,056台)
第74号	監査委員(識見を有する委員)選任の同意
第75号	監査委員(議員選出)選任の同意
第76号	公平委員会委員選任の同意
第77号	選挙管理委員及び同補充員の選挙
第78号	令和7年度一般会計補正予算(第2号)
第79号	令和7年度モーターボート競走事業会計補正予算(第1号)
第80号	物品の購入(塵芥収集車(2t車級パッカー車)3台)
第81号	副市長選任の同意
第82号	固定資産評価員選任の同意
請願第1号	「消費税率5%への引き下げを求める意見書」を政府に送付することを求める請願

議案の概要等はこちらから  
ご覧いただけます。



## 議会の動き

4・5・6月

### 4月

- 22日 全員懇談会
- 25日 各派会長会
- 30日 全員協議会  
各派会長会

### 5月

- 1日 各派会長会
- 8日 臨時会  
各派会長会
- 19日 各派会長会
- 19～22日 新人議員研修会
- 27日 議会運営委員会  
教育民生委員会協議会

### 6月

- 2日 全員協議会
- 5日 本会議  
各派会長会
- 9～13日 本会議
- 13日 議会運営委員会  
各派会長会
- 16日 教育民生委員会  
教育民生委員会協議会  
都市環境委員会  
都市環境委員会協議会
- 17日 総務委員会  
全員協議会

- 議会運営委員会
- 広報広聴委員会
- 20日 議会運営委員会
- 23日 本会議  
総務委員会協議会  
中心市街地等活性化特別委員会  
広報公聴委員会



## 一般質問

### トップセールスで農産物 販売促進を



谷本和也議員  
(志政会)



**Q** 本市農業の振興には、担い手確保や農家の所得向上への取り組みが求められるが、農産物の販売は個人や集出荷団体任せの傾向がある。そこで集出荷団体と協議し、市長がトップセールスを行うことで、本市特産農産物の販売を強化し、生産規模拡大時に販売先の拡大が円滑に進むよう、市政の手助けが必要ではないか。

**A** 市長 本市には、桃やアスパラガスをはじめ優れた農産物があるが、その魅力が十分に全国へ知られる

ていない現状がある。生産に見合った農家の所得向上に結び付けるため、地域全体で農産物の高品質化と安定した収穫量の確保、販売体制の強化に取り組む。

また、県やJA等の関係機関と連携して支援体制を整えるとともに、市長として1期目で築いた人脈を最大限に活用し、私自身が直接市場や取引先を訪れ、丸亀産農産物の魅力を全国に発信し、販路拡大に取り組んでいく。

#### その他の主な質問項目

- 物価高騰・エネルギー高騰対策

### 出生数低下の改善策は



角野仁美議員  
(市民クラブ)



**Q** 全国的な少子化の中、本市出生数も令和4年の841人から令和6年の738人と、103人減少している。妊娠・出産の望みを、経済的な理由で思いとどまらせることなく、社会として包括的に支援し、未来に命をつなぐ後押しを求めるが、市の出生数低下への考えと改善策は。

**A** 市長 ことも未来戦略では、2030年代までの数年が少子化対策のラストチャンスとされ、国を挙げた対策が進められているが、昨

年度は国内出生数が70万人を下回り、本市でも出生数の減少が顕著である。これまで市独自で子ども医療費や給食費の無償化を行ってきたが、さらなる子育て支援の充実が必要と認識している。子育てが希望と捉えられる社会を目指す、「丸亀市未来を築く総合戦略」や「丸亀市こども未来計画」に基づく多角的な支援を着実に進め、国・県と連携した経済的支援の充実や、市民との協働を通じた社会全体で子育てを応援する機運醸成につなげたい。

#### その他の主な質問項目

- 「まちづくりアライアンス」
- 中学生以下対象医療機関への時間外選定療養費の支援
- 中学校入学に伴う経済的支援
- 小・中学生への薬物所持、使用防止の周知啓発

## 一般質問

### 市民向け共通アプリの導入は



廣田勝也議員  
(志政会)



**Q** 県内でも複数の自治体が導入している市民向け共通アプリは、お知らせやデジタル地域通貨の発行、電子申請・届出など多岐にわたる行政サービスが1つのアプリに集約され、利便性の向上だけでなく、行政運営の効率化、地域社会全体の発展への貢献が期待されるものである。本市での導入に向けた検討は。

**A** 市長 スマートシティーの実現に向けた市民共通アプリの導入は、市民生活の利便性向上や地域経済

の活性化、持続可能な社会づくりに寄与すると考える一方で、現在、本市では情報発信力の強化、市民サービス向上を目的とした公式LINEアカウントを運用している。そこで今後は複数存在するサービスと連携した仕組みづくりの調査研究を行い、他自治体の先進事例も参考にしながら、行政サービスを横断的、有機的に結びつける共通アプリの運用に向けて取り組むよう指示したいと考えている。

#### その他の主な質問項目

●空き家対策 ●SG第52回ボートレースオールスター

### 紙おむつ給付額の増額を



大岡弘美議員  
(市民クラブ)



**Q** 障害者総合支援法に基づく日常生活用具給付事業は、基本的人権のもと障がい者が円滑な日常生活を送るために必要な用具や福祉サービスの給付を行うものである。その中で、本市の紙おむつの現物給付基準額では十分な枚数の購入が困難な状況であるが、基準額を増額する考えは。

**A** 健康福祉部長 本事業は国や県から統合補助金交付を受けて実施しているが、他事業と比べて補助率が低く、近年は十分な補助金交付を受

けられていない状況が続き、市の財政負担が増加している。紙おむつ以外の品目も日常生活に欠かせないものであり、現時点で自主財源での事業拡充は困難と考えている。

今後継続的に補助を行うためには財源の確保が重要と考え、同じ課題を抱える県内他市と共に、令和7年度春の県市長会議に財政支援措置の強化を議案上程し、国への要望として提出される予定である。

#### その他の主な質問項目

●福祉避難所の課題と対策・災害時の取り組み ●5歳児健診・相談支援体制

## 一般質問

### 福島駐車場の解体時期は



大倉流星議員  
(国民民主丸亀)

**Q** 丸亀城周辺を中心にまちづくりが進む中、歴史や観光コンテンツを持つ駅北口から丸亀港周辺のポテンシャルを生かしてきていないと感じる。今年度取り壊し予定としていた駅北口の市営福島駐車場とみなと公園の再整備に係る進捗状況と今後の具体的な施策、展望は。

**A** 市長 市営福島駐車場は、施設の老朽化、維持管理費増加、耐震性能不足から、跡地利用を検討しつつ令和7年度の解体を予定していた

が、駅前地下駐車場の利用者増加や、4街区再編整備による一時的な駐車台数減少を受け、解体を見送っている。国の補助を活用するため、解体や跡地整備の計画策定は4街区再編整備事業が終了する令和9年度以降を見込んでいく。また、みなと公園や跡地利用にむけては、今年度、回遊性や滞在性を検証する社会実験を行う。



#### その他の主な質問項目

- 103万円の壁 ● 防災意識の向上 ● 食物アレルギー対策

### 自立した地域経営に向けて



竹田英司議員  
(亀城会)

**Q** 港や駅、商店街、城を結び動線の整備や、市民や関係団体と連携した中心市街地の活性化は、まちが人を呼び込み、人々の暮らしと納税によって行政が回る、持続可能なまちづくりへと転換するために重要と考える。本市財政運営において、競艇収入への依存から脱却し、まちの魅力と活力が税収を生み出す自立した地域経営への長期的なビジョンは。

**A** 市長 今年度策定の第三次丸亀市総合計画では、時代の変化に

適応したしなやかな行政運営により地方創生を果たすべく、4街区再編整備を人の流れの創出と地域の稼ぐ力向上に繋げ、人を呼び寄せることができるよう重点課題とする予定である。

また、健全な財政運営の堅持を念頭にモーターボート競走事業の収益を市民福祉の向上に活用してきたが、豊かで愛すべき丸亀を次代に引き継いでいくため、持続可能な財政構造の確立、持続可能なまちづくりに取り組む。

#### その他の主な質問項目

- 地方公務員の兼業・副業

## 一般質問

### 地域公共交通の再構築



香川 勝 議員  
(志政会)



**Q** 人口減少や生活様式の変化による地域公共交通の需要低下は、事業者の努力だけで解決できるものではなく、関係者が連携協働した利便性、持続可能性、生産性を向上させた公共交通の「リ・デザイン」(再構築)が求められる。丸亀市地域公共交通計画の最終年度で見えてきた課題とその対応策は。

**A** 市長 長大な路線による移動時間増加や鉄道への接続が利用面の課題であり、コミュニティバスの路

線設定は、路線の特色が曖昧で全体的に非効率な運行といえる。路線の見直しは、現在の利用者への影響が懸念されるため慎重な検討が必要だが、将来的に幹線系統とそれ以外の系統の特色をはっきりさせつつ、適切な結節点の設定や待ち合い環境を整備し利便性向上や効率化につなげ、事業の継続性に寄与させたい。また、運営面では、運転手不足対策として事業者が行う就活イベントへの出展や運転免許取得補助を可能な範囲でサポートしていく。

#### その他の主な質問項目

- 高齢者福祉 ●家庭と地域の教育力充実

### きつ音への理解と支援



渡邊一馬 議員  
(市民クラブ)



**Q** 人口の1%の方にあるとされるきつ音の症状に対し、学校での理解や支援の不足がいじめや不登校につながる可能性がある。教員が正しい理解と知識を得るための研修状況は。また、きつ音の児童がコミュニケーションをとるため、必要に応じてスマートフォンを活用を認めるべきと考えるが市の見解は。

**A** 教育長 様々な子どもたちが共に学ぶ学校で、一人一人の特性や障がい等の支援には、教職員の正し

い認識が不可欠と考える。現在、きつ音に特化した研修はないが、城北小学校の言語障害通級指導教室での知見や既存の特別支援教育研修会等を活用し、支援方法や校内の支援体制、自他を尊重する心情や態度を育むことについて教員の学ぶ機会を設けるとともに、さらなる人権意識の醸成に努める。スマートフォン等のツールは、きつ音の児童や保護者の意向を確認しつつ、安心して学べる環境づくりに有効で適切と認められる場合に活用していく。

#### その他の主な質問項目

- 地域コーディネーターの人材確保と活動支援 ●パトランの普及

## 一般質問

### 選挙投票率の向上



守家英明議員  
(市民クラブ)



**Q** 全国的に投票率が低下傾向にある中、本市でも市議選に向けて商業施設での期日前投票所開設や投票しやすい環境の整備をしたものの、投票率が過去最低であった。そこで、取り組みの検証結果と7月の参議院選挙における投票率向上のための新しい取り組みは。

**A** **総務部長** 本市議会議員選挙で初めて商業施設に開設した期日前投票所では、2日間で1,109人が投票した。また、免許返納した高齢者

や学生も利用可能な投票所への移動支援策である選挙期間中コミュニケーションバスの運賃が何度でも無料になるキャンペーンでは、昨年10月の衆議院選挙時と比べ利用者の増加が見られた。若者向けの選挙啓発イベントを市民活動団体と協働して開催し、選挙、政治への関心を高め投票率の向上に努めるほか、商業施設での期日前投票所開設の継続に加えて休日にも開設することで有権者の利便性や投票機会の増加に取り組む。

#### その他の主な質問項目

●災害対策 ●市内コミュニティセンターの整備 ●熱中症対策 ●産業振興施策

### 小中学校の英語教育拡充



蒲生裕久議員  
(公明党)



**Q** 本市では人づくり石垣プロジェクトの一環としてA・L・Tの増員、イングリッシュキャンプの実施、英検受験料補助など英語教育に力を入れている。将来多様な価値観を持つ人々との協働が求められる子どもたちの実践的英語力を育成するため、学んだ英語を活用できる場を拡大させる考えは。

**A** **教育長** 令和6年度は212人が英検受験料補助を利用し、中学3年生では令和5年度に比べ、受験

者が約14%増加した。また、イングリッシュキャンプでは、学んだ英語を使って自分の意見を積極的に伝え、A・L・Tの話す英語を一生懸命聞こうとする姿から、英語でのコミュニケーションの喜びや、さらなる上達への意欲が感じられた。これらの取り組みから、身につけた英語を実際に活用する意義は大きいと考え、英語活用の機会の拡大については、効果を検証しながら検討していく。

#### その他の主な質問項目

●野良猫餌やり対策と地域猫活動の推進 ●带状疱疹ワクチン任意接種助成 ●窓口業務の軟骨伝導イヤホン設置 ●感震ブレーカー購入設置費助成 ●デジタルサポーターの育成

## 一般質問

### 犬猫のマイクロチップ活用



小野祐美子議員  
(市民クラブ)

**A** 産業生活部長 本市では、人と動物が共生する社会の実現を目指し様々な取り組みを進める一方で、亡くなった犬や猫は、現行法上一般廃棄物とされ、衛生面からも迅速な処理

**Q** 犬猫に装着されたマイクロチップは、登録した飼い主情報を専用機器で読み取り、迷子のペット発見につながるものである。現在、交通事故死した犬猫の死体はごみ処理場に送られているが、チップを読み取り、飼い主に連絡する考えは。

が求められている。現在、ごみ収集の通常業務の合間に犬猫の遺体収集を行っているが、到着時点で損傷が激しくチップの読み取りが困難な場合も多く、仮に読み取り可能でも、飼い主へ返還するまで遺体を適切に保管する専用の施設や設備、管理体制が整っていない。また、保管場所までの運搬を行うと通常のごみ収集業務に支障を来すことから、現時点では犬や猫にチップが装着されている場合、飼い主への連絡は困難と考える。

#### その他の主な質問項目

- 子どもの居場所等

### 産後ケア事業の充実



原田友里江議員  
(国民民主丸亀)

**A** 健康福祉部長 対象施設の広がりや産後ケア事業の浸透から利

**Q** 出産後の母子に心身のケアや支援を行う産後ケア事業では、今年度対象施設が県全域に広がったものの、一部市内施設では月齢や利用者の制限がある。夜間の授乳や移動の負担から市内近隣での利用を望む声が多い中、制限を設けている理由は。また、サービスの利用希望に因應するため、出産後1年未満まで月齢制限を緩和する考えは。

用申し込みが増加傾向にある中、実施医療機関では、通常の診療を行いつながら産後ケア事業を実施している。その際、乳児用の小さいベッドを使用するため、乳児が安全にベッド内で過ごすことができる月齢を考慮した結果、月齢制限などが設けられている。現在は医療機関の受入れ可能な範囲での事業実施であり、制限の改善は当面難しいが、より利用しやすくするため、制限の緩和、解消に向け、今後県や他市町、医療機関と対応策を協議していく。

#### その他の主な質問項目

- 医療・介護切れ目のないサービス提供
- 行政の医療専門職
- 介護保険分野研修

## 一般質問

### ワンストップの空き家相談窓口



福部正人議員  
(公明党)

### カーブミラー・防犯灯の設置



神田泰孝議員  
(国民民主丸亀)

**Q** 内容が多岐にわたる空き家相談業務を民間団体へ委託し、ワンストップで相談を受け付ける窓口を設置することで、市民の負担軽減や複合的な問題への対応、継続的な支援を図る自治体が増えている。空き家の適正管理と活用促進のため、本市でも民間団体による伴走型のワンストップ相談窓口の設置が急務ではないか。

**A** **都市整備部長** 行政だけでなく民間の専門性を生かした空き家の相談体制を整えるため、昨年度県内

で唯一「空家等管理活用支援法人制度」を導入した。空き家問題の解決に実績がある指定法人を市ホームページや管理不全空き家への指導文書に相談先として記載し、相談窓口のPRに努め、空き家所有者の利便性を図っている。引き続き法人の指定を積極的に推進するとともに、ワンストップ相談窓口の機能も含めて、支援法人のさらなる有効な活用手法を模索し、空き家所有者の多種多様な相談に対応できる体制の構築に取り組む。

#### その他の主な質問項目

●移住・定住促進施策の充実 ●ごみ集積施設設置補助 ●コミュニティバス等の中高生の運賃軽減 ●耐震ベッド補助の増額 ●消防団員のマイカー共済制度の活用 ●コンビニ交付のマイナンバー記載

**Q** 本市では、カーブミラーや防犯灯の設置は自治会経由での申請が基本的なルールだが、新しい分譲住宅では自治会を作らないケースがあり、設置出来ない箇所も多い。市民の安心・安全の観点から、新たな設置ルールを検討するべきではないか。

**A** **都市整備部長** 設置後に苦情が発生する可能性があるため、現在は自治会からの申請を基本としているが、今後、一定の条件や地権者の同意を得た箇所のカーブミラー設置は、自治会

を經由しない新たな方法を検討する。一方、防犯灯は、自治会への加入促進を目的とした電気料金支援制度により、自治会から申請を受けて設置した防犯灯のみ、本市が電気料金を負担するため、自治会未加入の住民からは電気料金の個人負担を理由に申請に至らない場合がある。防犯灯の設置や維持は、複数の課に関係する事項となる中、市民の安心安全を考慮し、多様な観点から慎重に検討・協議をしたい。

#### その他の主な質問項目

●郵便ポストを活用した災害時避難案内 ●地元企業PR事業の拡充 ●マンホールと下水道の広報イベント ●「郷土の歴史を彩った人々」の続編作成

一般質問

## 一般質問

### 商店街活性化に向けて



水本徹雄議員  
(会派無所属)

**Q** 大手町地区4街区は、年間約80万人が利用する市民交流活動センターマルタスに加え、現在整備中の新市民会館「THEATRE MADO（シアターマド）」の完成により更なる賑わいが予想される。この人流増加を商店街へ促すことが活性化のチャンスと考えるが、市の方針は。

**A** 都市整備部長 関係者が共通の将来像を持ち活性化に取り組むための官民連携組織「まるがめまちなか再生エリアプラットフォーム」が策

定した「まちなか未来ビジョン」では、商店街を含むエリアに、空き地や道路空間を活用した気軽に立ち寄りたくなる場所を増やすとともに、空き店舗のリノベーションによる新規出店を段階的に進めることとされている。今後、エリアプラットフォームによる出店希望者の伴走支援や、遊休不動産の活用及び流通の促進に取り組んでいきたい。



#### その他の主な質問項目

- 重点支援地方交付金の活用
- 公園整備
- 米価高騰対策
- 大阪・関西万博の活用

### 高齢者へタクシー補助券の交付を



中谷真裕美議員  
(会派無所属)

**Q** コミュニティバスの減便など不便になる中、高齢者の移動手段の確保は喫緊の課題である。最低限の移動保障として、タクシー補助券の交付を急いで実施したい。県内でも既に4市5町が実施している。

**A** 市長 先の議会答弁では、庁内連携会議で協議するとの事だったが、その後の状況は。

市長 昨年度庁内関係各課と社会福祉協議会による「高齢者移動支援連携会」を開催し、これまで議

員から提案のあったタクシー補助券についても協議を行ってきた。日常生活において移動に困っている高齢者の現状や既存の移動手段の課題を考えると、新たな支援策の必要性を強く感じるとともにタクシー助成は効果的な施策の一つと考えている。

そこで、今年度内には一定の道筋をつけ、なるべく早期に高齢者のタクシー助成について議会に案を示せるよう努める。

#### その他の主な質問項目

- 防犯灯の電気代負担

## 中心市街地等活性化 特別委員会を設置

中心市街地等のあり方について、その重要性を鑑み、より専門的かつ広域的に調査研究を行います。

◎委員長 ○副委員長

◎竹田 英司 ○守家 英明  
蒲生 裕久 渡邊 一馬  
中谷真裕美 大倉 流星  
東 由美 横田 隼人

## 広報広聴委員会 委員の選任

議会だよりの編集、議会ホームページ、議会報告会等の議会広報業務を担当します。

任期は5月8日から1年間（委員会協議の場には議長・副議長を含む）

◎委員長 ○副委員長

◎角野 仁美 ○中谷真裕美  
蒲生 裕久 小野祐美子  
渡邊 一馬 大倉 流星  
谷本 和也 香川 勝



## 永年勤続10名に表彰状を伝達

第101回全国市議会議長会定期総会、第87回四国市議会議長会定期総会において、各表彰規程に基づき、10名の議員が表彰状を授与されることとなりましたので、今期定例会で表彰状を伝達し、その功績をたたえました。

### ◆全国市議会議長会

《議員在職20年以上》 多田 光廣

### ◆四国市議会議長会

《議員在職20年以上》 多田 光廣

《議員在職16年以上》 加藤 正員

《議員在職12年以上》 神田 泰孝 岡田 剛

水本 徹雄 真鍋 順穂

《議員在職8年以上》 東 由美 大西 浩

竹田 英司 香川 勝



多田議員



真鍋議員 神田議員 岡田議員 水本議員



加藤議員



香川議員 東議員 大西議員 竹田議員

## 編集 後記

令和7年4月の市議会議員選挙後、広報広聴委員会の委員も新しく8名が選ばれました。すでに委員会が複数回開かれていますが、議会だよりの作成、議会報告会や意見交換会に向けて関連な意見がたくさん出ています。丸亀市に暮らしておられる皆さまに議会だよりを手に取って読んでいただき、議会だよりを通して丸亀市議会がより開かれたものになり、分かりやすく身近に感じていただけるように、委員と共によりしっかりと努めてまいります。

なお、議会だよりの表紙写真は随時募集しています。ご応募お待ちしております。

広報広聴委員長

角野 仁美